

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあそび王国野田本部事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41人	(回答者数) 31人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・理学療法士の専門的支援を行っている。 全体的なアセスメントとは別内容で専門的目線でアセスメントを実施し、追加支援が必要な場合は個別療育を実施する。 必要な場合は支援書などを作成し、学校、他事業所などと共有し、半年に1回支援の確認や様子を共有する。	個別支援を実施する場合は環境設定を適切に行い実施する。 対象者にもわかりやすく、課題を取り組む日はスケジュールを設定し、見通しを立てて意欲的に取り組めるようにする。	個別対象者の特性を理解したうえで、取り組む時間や集中力など技術以外の別の観点にも注目しながら、今後は実施した支援を結果シートに記録し保護者様や関係機関にも共有できるよう目指している。
2	集団療育を中心としながら、その過程で必要アセスメントを行い、個別支援も強化している。 個別支援は専門的支援とあわせて、有資格者の職員もプログラムを設定し認知や姿勢保持など個別支援を実施している。	個別支援を実施する場合は環境設定を適切に行い実施する。 対象者にもわかりやすく、課題を取り組む日はスケジュールを設定し、見通しを立てて意欲的に取り組めるようにする。	個別支援を通して、支援後は課題内容や成果の報告を行い、職員間での意思疎通やコミュニケーションなどからソフト面の最適化につながる。また様々な視点でみて考察することで、支援の内容の偏りを失くし支援計画に沿って実施できるよう取り組みの向上を図る。
3	日々の設定活動や長期休みのイベントなど、利用者様から意見を伺いながら、子ども達の希望に沿った活動やあそびを通して集団行動や社会性、友だちとの関わりを強化している。	保護者様から利用児の好きなことを聞いたり、デイサービス以外の様子や取り組んでいることをうかがいながら当事業所での設定活動を計画し、日頃から利用児達としっかりコミュニケーションをとりながら興味があることをうかがい提供する。	毎年成長とともに、活動内容の振り返りをします。 その記録を写真などに残し、利用児自身で振り返り、日々の過ごしに充実感を感じるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の公開を積極的に行っていないことである。 情報提供や日々の様子などは送迎時や写真などで報告はできているものの保護者様に安心感を与えるためにも、施設内の構造や活動内容を具体的に伝えることが課題と考えられる。	新型コロナウイルスが流行した後から、施設内の出入りに慎重になり、機会が遠ざかっていたため。	既存の利用者様にも積極的に施設内を公開する発信を行い訪問以外にもSNSやHPなどで公表していく。
2	卒業後、福祉サービスへ移行する際の仲立ちが上手く機能していない。	卒業後は学校や相談支援専門員などに任せているため、介入することはあまりなかった。	移行先の決定後は情報提供を行い、保護者様が相談にのりやすいよう寄り添っていく。
3	児童クラブや児童館との交流、地域の子供達と活動する機会がない。	設定して交流することはせず、外出先の公園などで、一緒に遊ぶ関わりはあったため、その後設定して交流することはなかった。	まずは同じ福祉サービスなどの他事業所から、関わりをもちながら、楽しむことを知る。イベントや児童館などにも積極的に向き、職員が仲立ちし友好的な関係になれるよう努め、地域交流を深めていく。